

---

# 無意味な文

中田 勸

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

無意味な文

### 【Nコード】

N3890N

### 【作者名】

中田 勘

### 【あらすじ】

本当に無意味な文です。  
すみません

私はこの世を最悪だと思います。

私は自分の価値観を他人に押し付けることを嫌います。

一部だけ見て人を判断する事はとても悪い事です。

でも、みんなそれを止めようとしません。

私は人を叱りません。

それは自分の価値観を押し付ける事だから。

だからきつと私が他人によって体の一部を失ってもその人を叱ったりはしないでしょう。

もし、その人に悪気が無かったらどうしましょう。

もし、その人に何か理由があったらどうしましょう。

私はいつも他人とのやり取りの中で、他人に嫌がられないよう、喜ばれないように注意しています。

喜ばれようと、嫌われようと結局は他人の記憶に著しく残っています。

そして、どこかで他人と他人との会話に私が登場してしまったら。考えただけでもゾツとします。

だからなるべく浮かないように、浮かないように。

私がどうしてこんな風になってしまったか、それは私が好きなものを、他人に否定されたからです。

好きなものが否定される思いを考えてみてください。

あなたが好きなのはなんですか。

動物？ 魚釣り？ 鉄道？ ゲームやアニメ？ スポーツ？

それらのものを他人に否定されている所を想像してみてください。私は他人に嵌り過ぎだと指摘されました。

嵌り過ぎ？

一日に数時間しか会わないくせにそんなこと言わないで欲しい。そして他人は言いました。

『言いたいことはあるか。無いだろう。』

こんなことで他人を嫌うのは、私の心が弱いせいでしょう。でも、それが私です。

今私がこの文を書いていることも、自分の価値観を他人に押し付けているのと代わりは無いです。

作者としてあなたの記憶に残るかもしれません。

だからもう終わりにします。

こんな無意味な文字を羅列しただけのデータはいりませんね。

（後書き）

「改心新心」を書いてる途中で書いた作品です。  
どこがアイデアになったのか忘れてしまいましたが。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3890n/>

---

無意味な文

2010年10月9日19時19分発行